

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県赤穂市 赤穂市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	透 訓 ガ	救 臨 感 へ 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
44,816	32,911	-	第2種該当	7：1

※1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療

※2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
356	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	360
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
237	-	237

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の両縦・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

当院は赤穂市のみなす西播磨地域の中核病院として23診療科を標榜し、小児を含めた二次救急医療や地域がん診療病院、災害拠点病院、地域医療支援病院などの重要な役割を担っています。また、隣接する岡山県東部地域からの利用も多くみられます。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、入院において診療報酬の各種加算の取得に積極的に取り組んだものの、手術数の減少などにより患者1人1日あたり収益は減少しました。外来において抗がん剤による化学療法の件数が増えたことなどで、患者1人1日当たり収益は増加しました。

また、費用においては、経費全般の圧縮に努めたものの、入院収益の減少及び新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが「5類感染症」へ移行し、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が減少した結果、経常収支比率、医療収支比率及び累積欠損金比率が悪化しました。

2. 老朽化の状況について

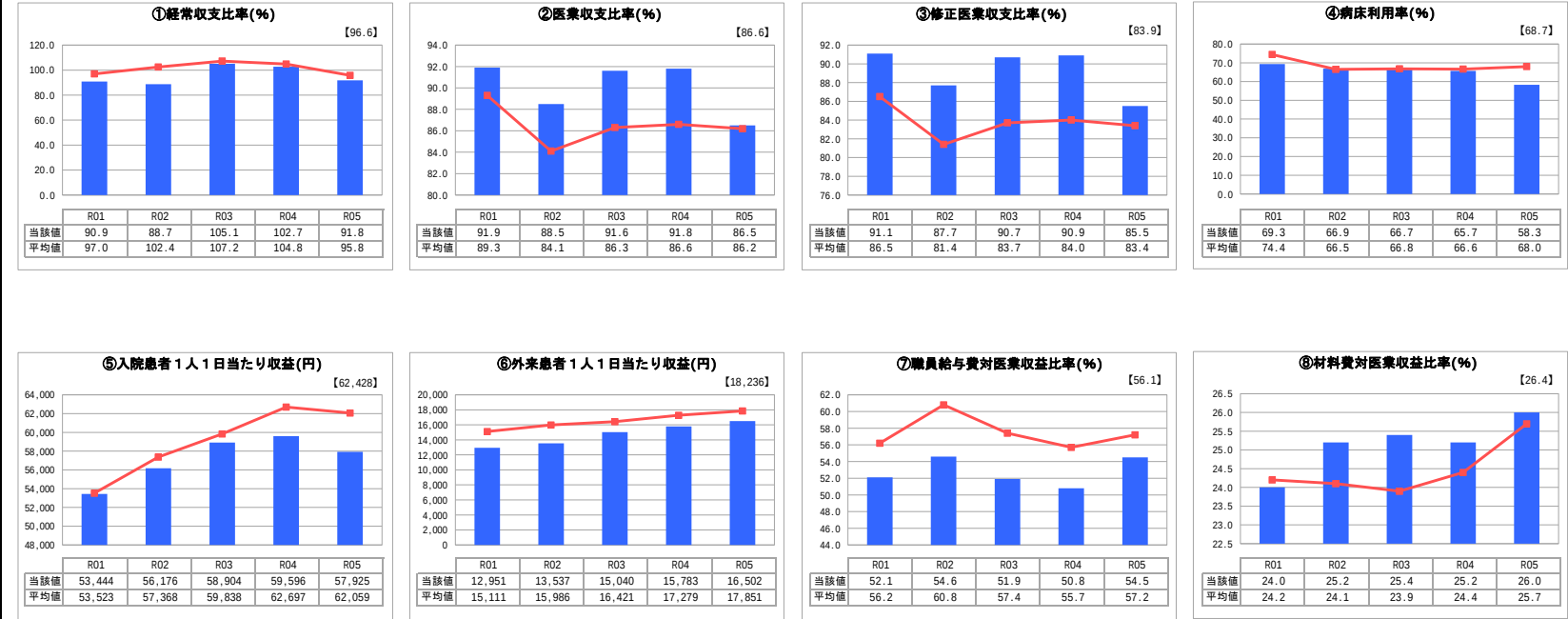
当院は、平成10年2月に新築移転してから25年が経過しているため、今後計画的な更新や維持修繕を行っていきます。医療機器については、計画的な更新に加え、進化する医療に対応すべき新規医療機器についても、費用対効果を考慮し導入を行っています。また、安全安心な医療提供のため、機器の状況に応じた保守契約を締結するなど適切な管理を行っています。

全体総括

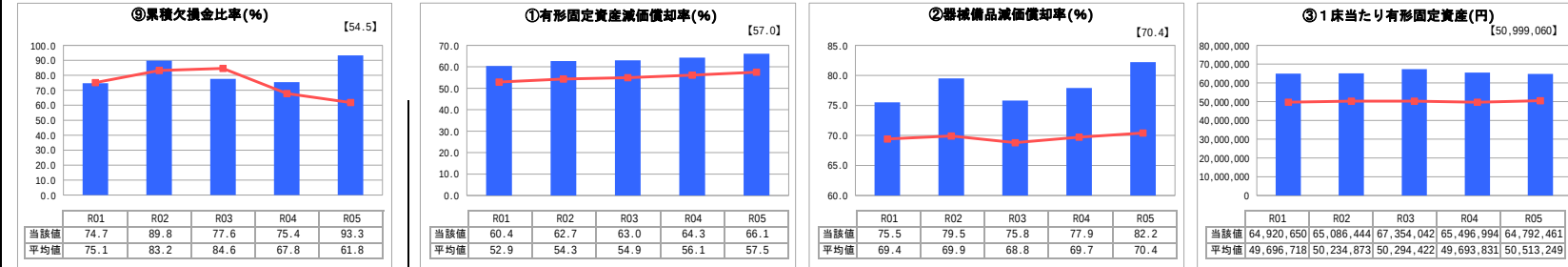
令和5年度は、給与費をはじめとする費用が減少したものの、入院収益及び新型コロナウイルス感染症関連の補助金が前年度より減少した結果、赤字決算となりました。経営状況は逼迫しており、一時借入金増加など、大変厳しい状況となっています。

今後は、地域の中核病院として持続可能な医療の提供を目的に策定した「赤穂市民病院公立病院経営強化プラン」に基づき、経営の効率化等の各項目の実現に取り組み、全力で経営改善を図ってまいります。また、その取組内容を踏まえた同プランの点検及び評価を着実に実施するほか、経営改善検証委員会等において、引き続き経営改善の進捗状況を検証してまいります。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。